

※店舗ごとに作成し、当該店舗の給付額を福岡県感染拡大防止協力金申請書(様式第1号)に転記してください。

【第7期】協力金支給申請額計算書(別紙2)

以下のフロー図の質問を基に、該当する計算方法を選択していただき、数値を入力してください。

※1日あたりの売上高は、消費税・地方消費税を除いた額となります。提出書類上の売上高が消費税・地方消費税込みで記載されている場合は、消費税・地方消費税を除いた金額がわかる書類を、別途作成して提出してください。

【売上高減少額方式】※日数の算定にあたっては、休業日(定休日や不定休による店休日)を含みます。

前年又は前々年の1日当たり飲食業売上高と令和3年の1日当たり飲食業売上高を計算してください。  
 計算方法は下記A・B・Cいずれかを選択可能です。  
 ※月々の売上高が不明な場合は裏面の売上高減少額方式(年間売上高による申請)が利用可能です。

A 月単位方式	前年又は前々年	前年又は前々年5月の飲食業売上高 円	÷	31日	=	前年又は前々年の1日当たり飲食業売上高 ① 円
	令和3年	令和3年5月の飲食業売上高 円	÷	31日	=	令和3年の1日当たり飲食業売上高 ② 円
B 時短要請期間方式	前年又は前々年	前年又は前々年の時短協力期間と 同期間の飲食業売上高 円	÷	時短協力日数 日	=	前年又は前々年の1日当たり飲食業売上高 ① 円
	令和3年	令和3年の時短協力期間の 飲食業売上高 円	÷	時短協力日数 日	=	令和3年の1日当たり飲食業売上高 ② 円
C 新規開店特例方式	(※時短要請月を基準に、開店1年未満の場合に使用してください。)					
	(開店日から時短協力開始日の前日までの飲食業売上高)÷(開店日から時短協力開始日の前日までの日数)=1日当たりの飲食業売上高					
		開店日から時短協力開始日の前日までの飲食業売上高 円	÷	開店日から時短協力開始日の前日までの日数 日	=	1日当たりの飲食業売上高 ① 円
	※ 開店日が令和3年1月16日より前の場合は、開店日から令和3年1月15日までの飲食業売上高も選択可能です。					
	令和3年	令和3年の時短協力期間の 飲食業売上高 円	÷	時短協力日数 日	=	令和3年の1日当たり飲食業売上高 ② 円

上記で計算した①②の数字を転記してください。

$$\left( \begin{array}{|c|} \hline \text{前年又は前々年の1日当たり飲食業売上高} \\ \hline \text{① 円} \end{array} - \begin{array}{|c|} \hline \text{令和3年の1日当たり飲食業売上高} \\ \hline \text{② 円} \end{array} \right) \times 0.4 = \begin{array}{|c|} \hline \text{1日当たりの給付単価} \\ \hline \text{円} \end{array}$$

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{1日当たりの給付単価} \\ \hline \text{000円} \end{array} \times \begin{array}{|c|} \hline \text{時短協力日数} \\ \hline \text{日} \end{array} = \begin{array}{|c|} \hline \text{当該店舗の給付額} \\ \hline \text{000円} \end{array}$$

千円未満切り上げ ※上限:200,000円

支給額等を必ずご確認の上、「上記内容で申請します」にチェックしてください。  上記内容で申請します

※1日あたりの売上高は、消費税・地方消費税を除いた額となります。提出書類上の売上高が消費税・地方消費税込みで記載されている場合は、消費税・地方消費税を除いた金額がわかる書類を、別途作成して提出してください。

**【売上高減少額方式（年間売上高による申請）】 ※前年又は前々年の月別の売上が不明な場合に申請可能**

前年又は前々年の1日当たり飲食業売上高を計算してください。

$$\boxed{\begin{array}{l} \text{前年または前々年の年間の飲食業売上高} \\ \text{円} \end{array}} \div \begin{array}{c} \text{365日} \\ \text{366日} \end{array} \text{ いずれかに○をつけてください(※)} = \boxed{\begin{array}{l} \text{前年又は前々年の1日当たり飲食業売上高} \\ \text{① 円} \end{array}}$$

※ 令和2年2月29日の売上高が含まれる場合は366日、含まれない場合は365日を選択して計算してください。

令和3年の1日当たり飲食業売上高を計算してください。計算方法は下記A・Bいずれかを選択可能です。

**A 月単位方式**

$$\boxed{\begin{array}{l} \text{令和3年5月の飲食業売上高} \\ \text{円} \end{array}} \div \text{31日} = \boxed{\begin{array}{l} \text{令和3年の1日当たり飲食業売上高} \\ \text{② 円} \end{array}}$$

**B 時短要請期間方式**

$$\boxed{\begin{array}{l} \text{令和3年の時短協力期間の} \\ \text{飲食業売上高} \\ \text{円} \end{array}} \div \boxed{\begin{array}{l} \text{時短協力日数} \\ \text{日} \end{array}} = \boxed{\begin{array}{l} \text{令和3年の1日当たり飲食業売上高} \\ \text{② 円} \end{array}}$$

上記で計算した①②の数字を転記してください。

$$\left( \boxed{\begin{array}{l} \text{前年又は前々年の1日当たり飲食業売上高} \\ \text{① 円} \end{array}} - \boxed{\begin{array}{l} \text{令和3年の1日当たり飲食業売上高} \\ \text{② 円} \end{array}} \right) \times 0.4 = \boxed{\begin{array}{l} \text{1日当たりの給付単価} \\ \text{円} \end{array}}$$

千円未満切り上げ

$$\boxed{\begin{array}{l} \text{1日当たりの給付単価※} \\ \text{000円} \end{array}} \times \boxed{\begin{array}{l} \text{時短協力日数} \\ \text{日} \end{array}} = \boxed{\begin{array}{l} \text{当該店舗の給付額} \\ \text{000円} \end{array}}$$

※上限:200,000円

支給額等を必ずご確認の上、「上記内容で申請します」にチェックしてください。  上記内容で申請します